

政務活動費不正受給問題に対する取り組み

1 お詫び

昨年の地方議員による政務活動費不正受給問題については、住民の皆様にご心配とご迷惑をおかけしました。同じ地方議員の一人としてお詫び申し上げます。

二度とこうした事件が起こらないように私自身、自民党政務活動費再発防止プロジェクトチームの一員として再発防止策の策定に関わらせていただきました。

一方で政務活動費は、地域や現場の声を丁寧に聞き、また先進地の事例や最新の政策動向を調査し、首長と対等に対峙し、質の高い政策提案を行うために必要なものです。

今回の事案を深刻に受け止め、改めて襟を正して、今後とも議員活動に邁進させていただきます。

2 概要

■ 議会の各会派に対して、議員一人当たり月額30万円が支払われています。

■ 以下の用途に使用されています。

最大 東京都 月額60万円
最小 鳥取県・沖縄県 月額25万円

自民党会派内における政務活動費の流れ



- 調査研究費
地方行政に関する調査委託や視察などに要する経費など
- 研修費
研修会や勉強会を開催する経費や講演会等に参加する経費
- 要請陳情等活動費
国等へ行う要請陳情活動等に要する経費など
- 資料購入費
活動に必要な資料の購入に要する経費
- 人件費
活動に必要な補助職員を雇用する経費

3 再発防止策

より厳しいチェック体制の構築

議長の下に第三者機関を設置

政務活動費をオープンに

インターネットによる情報公開を行います。



「とやま新時代」を創る
次なる挑戦!!

Challenge spirit Vol.12

平成29年1月号
(H29.1発行)

ながもり なおと 永森直人 県議会通信

ご挨拶

皆さん、あけましておめでとうございます。昨年は、皆様方からの温かいご支援のおかげを持ちまして、充実した県議会議員活動を送ることができました。改めまして感謝申し上げます。

さて、昨年は富山県議会や富山市議会などにおける政務活動費の不適切な支出をめぐり県民の皆様方に多大なご迷惑やご心配をおかけいたしました(政務活動費については裏面に別途記載)。

一方で、リオデジャネイロオリンピック柔道競技において本市出身の田知本遥選手が県勢で個人として初の金メダリストに輝いたこと、また北陸新幹線の大阪延伸に向けたルートが決まるなど富山県にとって嬉しいニュースもたくさんありました。

特に、北陸新幹線が大阪まで延伸されることになれば、富山県は東京から2時間、大阪までは1時間半という絶好の地理的環境を有することになり、観光振興はもちろんのこと、ビジネスの面でも日本海側有数の拠点地域となることとなります。

こうした未来を見据えた戦略的なビジョンが求められており、私も議員の立場として大局的な観点から、しっかりと県に対し提言を行っていきたくと考えております。

また県立高校の再編の問題、現場のニーズに対応したきめ細かい教育環境の整備、中山間地対策を含めた農業の振興の問題、また通学路の安全対策などを含めた道路交通環境の整備、公共交通の充実、また2025年までの地域医療の在り方を決める地域医療構想の策定など私たちの生活に身近な諸問題についても引き続きしっかりと取り組んでいきます。

射水市は、県の中心に位置し、コンパクトな地形の中に海があり、野があり、山がある富山県の縮図ともいえる市であり、今後の富山県の発展の鍵をにぎる大変大事な地域であります。

射水市の大きな潜在能力を、埋もれさせることなく飛躍に結び付け、本県発展の原動力にするべく努力をまいります。

本年も、皆様方のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

県政トピックス

北陸新幹線延伸に向けて大きく前進

■ 小浜・京都ルートが決定

※富山県試算	富山・新大阪間の時間距離			運賃 (富山・新大阪間)
	北陸新幹線 (1時間) (金沢乗換)	サンダーバード (2時間)	(3時間)	
現行	最速 計2時間59分			9,430円
北陸新幹線 (小浜京都ルート)	約1時間38分			10,360円

今後の取り組むべき課題

- ① 必要な財源の確保
- ② 平成42年度末(北海道新幹線札幌開業予定)までの大阪開業
- ③ 中京圏への利便性の確保(京都駅での東海道新幹線乗換利便性や料金の配慮)



皆様からのご意見、ご提言、ご要望をお待ちしております。

永森直人事務所

TEL.0766-55-3533

FAX.0766-55-3577

E-mail

nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp

★いただいたご要望が実現しました。

- 小杉婦中線(土代地内)バス停付近の道路改良(※通学安全対策)
- 県道戸出小矢部線水戸地内での横断歩道設置



富山県議会議員 永森直人 (ながもりなおと)

〈略歴〉 ※H29年3月現在

昭和50年1月20日生まれ(42歳)

高岡南高校、東京都立大経済学部卒業

住 所 射水市三ヶ

家 族 妻、長男、次男と4人暮らし

平成9年4月 富山県庁入庁

ロシア・ウラジオストク派遣留学、広報課、

高齢福祉課主任などで各種施策に取り組む

平成22年9月 富山県庁退職

平成23年4月 富山県議会議員に初当選(現在2期目)

〈主な役職〉

- ・富山県議会 教育警務常任委員長
- ・自民党富山県連 青年局長
- ・自由民主党小杉連合支部 支部長
- ・射水市消防団三ヶ分団長
- ・小杉まちづくり協議会会長
- ・NPO法人日本応急手当普及員協会顧問
- ・小杉ライオンズクラブ所属



永森直人県議会通信 Vol.12

(H29.1月発行)

-発行- 自民党富山県議会議員会

永森直人

〒939-0306 射水市手崎363-1

TEL.0766-55-3533

FAX.0766-55-3577

E-mail

nagamori-naoto@vivid.ocn.ne.jp

9月定例県議会 一般質問

農業問題

- 国の中山間地域等直接支払制度の対象とならない旧へき地など条件不利農地に対する支援を強化せよ。
→平地に比較して農作業に係る負担が多いので、実情を十分に踏まえ、国の事業や県単独事業等について、要望に応じた活用が図られるよう、関係市町、土地改良区等の意見も聞きながら、支援の拡大を含め、さまざまな観点から検討を行う。

成果 金山地域の中山間地の知事特認指定に向け調査始まる

- コシヒカリに代わるコメの新品種を開発中であるが、どのように新品種への作付変更が進められていくことになるのか。

→平成29年度には県内各地に実証圃場を設置し、地域特性に応じた栽培技術を確立する。平成30年度に、一般栽培を開始し、実需者や消費者等の評価を踏まえ順次生産拡大を図る。各JAとも連携し、生産者に対し丁寧な説明を行っていく。



水害対策

- 地震や豪雨災害、老朽化により決壊が懸念されているため池の防災事業に計画的に取り組み。

→防災重点ため池の耐震対策につき、現在、耐震調査を行っており、平成30年度までに防災重点ため池全ての調査を終える予定としている。調査の結果を踏まえ、緊急性の高いものから順に、堤体の耐震補強を進めていく。

子育て支援・教育問題

- 通学路において歩行者用信号機がない又は一方向しかついていない交差点がある。交通量の多い大きな交差点において双方向の設置を進めよ。

→警察庁の信号機設置の指針を参考に、交通量、事故の発生状況、交差点の形状などを調査分析して設置箇所を判断している。引き続き、交通環境の変化に応じた安全対策を進める。

成果 橋下条交差点での歩道信号設置

- 放課後児童クラブ(学童保育)は、受け入れ学年の制限が撤廃され、需要が増えており、一部の学童保育で受け入れできない状況となっている。市町村の整備に対する支援制度を拡充せよ。

→市町村においてニーズ量を適切に把握し、必要な整備を行っていただくことが重要であるが、県としても、市町村の要望を聞き、必要な支援を行っていく。



- 小中学校施設の老朽化対策や環境改善を進めるため、国の予算確保を含め積極的取り組み。

→国の第2次補正予算において、当初予算709億円を大きく上回る1,407億円の公立学校施設整備費が計上された。今後とも市町村や関係機関と連携し、小中学校施設の老朽化対策や環境改善が着実に進むよう支援する。

成果 歌の森小学校や小杉南中学の老朽化対策や大島小学校などのグラウンド整備事業が予算化され事業が進捗

11月定例県議会 一般質問

スポーツ環境の充実について

- 富山県経済・文化長期ビジョンにおいて、文化やスポーツに触れる場を提供するため多目的なアリーナ施設の整備を目指すとしている。施設の検討にあたっては、武道場のみならずフットサル場などの屋内型人工芝施設や屋内型陸上競技練習施設など幅広く議論し、冬期間のアスリート育成にもつなげよ。

→県立の富山、高岡の両武道館の試合面数が2面であることや、駐車場が限られていることから県、北信越、全国大会などの大きな大会は開催できない。

屋内型人工芝施設や陸上競技施設については、積雪の多い本県にとって、冬期間に多くの県民の皆さんがスポーツに親しむことができることから、全天候型のアリーナの整備を目指すことがビジョンに盛り込まれた。

広く県民の皆さんや関係競技団体のニーズを的確に把握し反映していくことが大切であり他県の事例なども参考にしながらスポーツ環境の整備について必要な研究、検討に努める。

- 県民公園太閤山ランドは、各種スポーツ施設を備えているが利用率が低い。駐車場の一部無料化や夜間営業などの対策を取り、利用率向上を図るべき。

→施設の更なる利用増進が必要であり、議員ご提案の開園時間や駐車場料金の弾力的運用なども利用率向上を図るための有効な方策であると考えている。今後とも公園利用者の意見も聞き、指定管理者とも連携し、方策について幅広く検討していく。



北陸新幹線の大阪延伸について

- 一部報道で、京都-新大阪間で建設費用がかさむことから「(東海道新幹線に)京都で乗換え」という案もあると聞く。新大阪まで乗換えなしでの新幹線の整備が必要であるとする。

→議員が指摘のように、小浜京都ルートが決定しても、京都-新大阪間の建設に多額の財源が必要となり、京都駅止まりとなるとといった報道が一部になされた。しかし、国土交通省の調査でも費用対効果は1以上で最も利用者便益が高いとされ建設財源となる貸付料も相当期待できるルートである。

必要な財源を確保することが極めて重要であり、国に対し公共事業費の拡充、新幹線貸付料の前倒し活用や運用改善、財政投融資の活用などを求めている。来年度からすぐにでも環境アセスメント等の必要な調査を実施し、早期の着工、北海道新幹線・札幌開業頃(2031年予定)までに大阪全線開業が実現するよう強く働きかける。



- 北陸新幹線の大阪延伸に際して、関西空港への乗り入れについて打ち出していく必要があると考える(北陸地域が国際空港と直接接続する意義は、観光、ビジネスなどを考えても極めて大きい)

→仮に北陸新幹線が関西国際空港まで延伸されると、日本国内の国際的なオフィスの立地を大幅に促すなど、関西だけでなく、北陸も含めて日本全体に観光やビジネスの面で大きなメリットがある。

与党PTの北陸新幹線敦賀・大阪間整備検討委員会の議論の過程でも、北陸新幹線は関西国際空港にアクセスさせることが望ましいとの議論があり、喫緊に調査すべき課題とされたので、今後、その動向を見守る。県としては、まずは整備計画路線である北陸新幹線を1日も早く完成させ、関西国際空港への延伸はその次の段階と考えている。

後援会だより

後援会女性部主催 県議会傍聴

(県知事、県議会議長と記念撮影)



直心会による東京研修会

(首相官邸にて野上官房副長官と記念撮影)

